

令和5年度

第一学年 年間授業計画



東京都立本所工科高等学校

TOKYO METROPOLITAN HONJO TECHNICAL HIGH SCHOOL PART-TIME SCHOOLING SYSTEM COURSE

目次

現代の国語.....	2
言語文化.....	9
数学 I.....	17
英語コミュニケーション I.....	20
公共.....	26
体育.....	35
保健.....	38
美術 I.....	40
書道 I.....	42
工業技術基礎.....	47
工業情報数理.....	51
人間と社会.....	65

現代の国語

教科名	国語	科目名	現代の国語	単位数	1 単位
学年・類型	1 学年・総合技術科		担当教員		
使用教科書・教材	東京書籍「新編現代の国語」 とうほう「標準漢字演習」				

教科の目標 国語科 の目標

観点	a : 知識及び技能	b : 思考力・判断力・表現力	c : 学びに向かう力、人間性等
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 現代の国語 の目標

観点	a : 知識及び技能	b : 思考力・判断力・表現力	c : 学びに向かう力、人間性等
趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間					
			話・聞	書	読	知	思	態							
1	<p>○「現代の国語」を学ぶにあたって</p> <p>【知】「現代の国語」を学ぶ目的をよく理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。</p> <p>【思】「現代の国語」で、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その内容を適切に相手に伝える表現力を身につける。</p> <p>【態】「現代の国語」を学ぶ目的を理解し、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。</p>	<p>1 「現代の国語」の目標を学び、授業の取り組み方や、持ち物、評価の観点等について理解する。</p> <p>2 自己紹介とこの授業での目標を発表させる。</p>	○			○	○	○	【知】 「現代の国語」を学ぶ目的をよく理解し、実社会に必要な国語の知識や技能を身につけている。	【思】 「現代の国語」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その内容を適切に相手に伝える表現力を身につけている。	【態】 「現代の国語」を学ぶ目的を理解し、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につけている。	1			
	<p>○「こそそめスープ」</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようになる。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文 	<p>1 筆者の思いの変化に注意しながら、本文を通読する。（手引き1）</p> <p>2 第一段での筆者の「こそそめスープ」への思いを理解する。（手引き2）</p> <p>3 「こそそめスープのある世界」は、筆者にとってどのようなものがあるかを理解する。（手引き3・4）</p> <p>4 筆者の考える「自分の作りあげた異世界」について理解する。（手引き5）</p> <p>5 第三段から、筆者の人間に対する考え方を読み取る。（手引き6）</p> <p>6 筆者と同じような勘違いをしていたことがないかを考えて書き出</p>			○	○	○	○	【知】	・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。	・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。	・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。	・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。	【思】	・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や

<p>章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文，話，文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において，文章の種類を踏まえて，内容や構成，論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え，要旨や要点を把握する。 ・「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深める。 <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し，学習課題に沿って自分の考えをまとめ，話し合おうとする。 	<p>し，「思い込み」や「勘違い」の背景を探る。また，「本物のこそそめスープ」とはどのようなものかを話し合う。（言語活動1・2）</p>	○					<p>要点を把握している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において，目的に応じて，文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら，内容や書き手の意図を解釈したり，文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに，自分の考えを深めている。 <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し，学習課題に沿って自分の考えをまとめ，話し合おうとしている。 	
<p>○「漢字の読み書き」</p> <p>【知】</p> <p>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。 	<ol style="list-style-type: none"> 1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。 	○	○	○	○	○	<p>【知】</p> <p>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。 	4

2	<p>○「未来をつくる想像力」「…メディアとの付き合い方」</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深める。 <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 <p>【態】</p> <p>粘り強く筆者の</p>	<p>1 本文を通読して、内容を把握する。(手引き1)</p> <p>2 「イメージの貧困」がなぜ起きるかを理解する。(手引き2)</p> <p>3 「イメージの共有」がなぜ個人の単独性を失わせるのかを理解する。(手引き3)</p> <p>4 筆者の考える「社会」とはどのようなものか理解する。(手引き4)</p> <p>5 「空白の時間」をつくることの意義について理解する。(手引き5)</p> <p>6 本文の内容を踏まえて、実際の生活やメディアの特長について考え、話し合う。(言語活動)(考えよう……メディアとの付き合い方)</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ・情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 <p>【態】</p> <p>粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合おうとしている。</p>	6
---	--	---	---	---	---	---	---	--	---

<p>考える「想像力」を理解し、学習課題に沿って実際の生活を見直し、情報社会における自己の在り方について考えを深め、話し合うことができる。</p>									
<p>○「漢字の読み書き」 【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。</p>	<p>1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。</p>	○	○	○	○	○	○	<p>【知】常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。</p>	4
<p>○「憧れの職業について調べ、整理してまとめよう」 【知】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようになる。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。 【思】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にすること</p>	<p>1 「学習の流れ」を読み、活動のポイントの見通しを持つ。 2 「憧れの職業」について調べ、整理してまとめるまでの例を参考に、自分の希望を人に伝えるための文章の書き方を確認する。 3 「課題」(P121)の中から一つを選び、興味のある対象(職業または国)をいくつか挙げ、インターネットや辞書、事典等で基本的な情報を調べる。 4 集めた基本的な情報をもとに、自分の経験や個性も踏まえ、候補に挙げた対象について比較して選択肢を絞る。 5 自分がその対象を選んだ理由などを書き出す。 6 選んだ対象について、実際に経験した人の話や、関係する書物な</p>	○	○	○	○	○	○	<p>【知】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 【思】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 【主】 ・粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通</p>	4

	<p>ができる。</p> <p>・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫することができる。</p> <p>【主】</p> <p>・粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書くこととする。</p>	<p>ど、詳しい情報を集める。</p> <p>7 集めた情報を取捨選択し、読み手に自分の考えが伝わりやすくなるよう、書くための材料を決める。</p> <p>8 説得力のある文章になるよう構成を決め、大まかな字数の配分を考える。</p> <p>9 構成に沿って文章を書き、推敲をする。</p> <p>10 推敲した文章を清書する。班の中で互いの文章を読み合い、文章の内容や構成について意見交流を図る。</p>	○	○	○	○	○	<p>しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書くとしている。</p>	
3	<p>○「美しさの発見」</p> <p>【知】</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解する。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解する。</p> <p>【思】</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握する。</p>	<p>1 取り上げられている具体例に注意しながら、本文を通読する。(手引き1)</p> <p>2 第一段から「発明」と「発見」に関わる語句や表現を抜き出し、ここでのそれぞれの意味を明らかにする。</p> <p>3 コロンブスやキュリー夫人の「発見」と芭蕉やセザンヌの「発見」の違いを考え、それぞれの意味を明らかにする。(手引き2)</p> <p>4 少年龍之介を叱った先生が捉えている「美しさ」と少年龍之介が捉えている「美しさ」を読み取る。(手引き3・4)</p> <p>5 「同じ一つの心のはたらき」について考え、「『美しさ』を知る」ために必要なことを話し合う。(言語活動)</p> <p>6 この文章で筆者は、「美しさの発見」とはどのようなものであると述べているか、考えを述べ合う。(手引き5)</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】</p> <p>・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>【思】</p> <p>・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。</p> <p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。</p> <p>【主】</p> <p>・粘り強く取り上げられ</p>	6

	<p>・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めることができる。</p> <p>【主】</p> <p>・粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合うことができる。</p>								<p>た具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。</p>	
<p>○「漢字の読み書き」</p> <p>【知】</p> <p>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【態】</p> <p>・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。</p>	<p>1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。</p> <p>2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。</p> <p>3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。</p>		○	○	○	○	○	○	<p>【知】</p> <p>常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【態】</p> <p>・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。</p>	4
評価方法	定期考査(3回)、小テスト、ノート、提出課題、授業への取り組み等							配当時間合計	35	

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

言語文化

教科名	国語	科目名	言語文化	単位数	1 単位
学年・類型	1 学年・総合技術科		担当教員		
使用教科書・教材	東京書籍「新編言語文化」 とうほう「標準漢字演習」				

教科の目標 国語科 の目標

観点	a : 知識及び技能	b : 思考力・判断力・表現力	c : 学びに向かう力、人間性等
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 言語文化 の目標

観点	a : 知識及び技能	b : 思考力・判断力・表現力	c : 学びに向かう力、人間性等
趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			話・聞	書	読	知	思	態		
1	<p>○「言語文化」を学ぶにあたって</p> <p>【知】「言語文化」を学ぶ目的をよく理解し、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。</p> <p>【思】「言語文化」で、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につける。</p> <p>【態】「言語文化」を学ぶ目的を理解し、言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。</p>	<p>1 「言語文化」の目標を学び、授業の取り組み方や、持ち物、評価の観点等について理解する。</p> <p>2 どのような言語文化に触れてきたか、またこの授業でどのような内容について学びたいかを発表させる。</p>	○			○	○	○	【知】「言語文化」を学ぶ目的をよく理解し、社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけている。	1
	<p>○「さくらさくらさくら」</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙 	<p>1 桜に対するイメージや筆者について知っていることを発表する。</p> <p>2 本文を通読し、三つの部分に分けて、それぞれの話題をまとめる。（手引き1）</p> <p>3 第一段における要点がどの部分に示されているかを考え、それが本文全体でどのような意味を持つか考察する。</p> <p>4 具体例から日本と外国での桜に対する感じ方や考え方の違いを理解する。（手引き2・3）</p> <p>5 第三段を音読し、短歌三首の内容と詠まれた心情について考える。（手引き4）</p> <p>6 短歌の内容と心情についての考察を踏まえ</p>			○	○	○	○	【知】	6
								<ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れて 		

<p>を豊かにする。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する。 【態】 ・進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理することができる。</p>	<p>て、筆者の桜への思いを整理する。(手引き5)</p>						<p>いるものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【態】 ・進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。</p>	
<p>○「漢字の読み書き」 【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。</p>	<p>1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。 2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。 3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができている。 【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。</p>	4

2	<p>○「羅生門」</p> <p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使えるようになる。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。 <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。 <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとする態度を養う。 	<p>1 全文を通読し、時代背景を確かめる。(手引き1)</p> <p>2 場面の変化に注意して、本文全体を四つの意味段落に分ける。</p> <p>3 第一段を読み、「下人」の内面の状態をまとめる。(手引き3-1)</p> <p>4 「作者」の説明に従って、「下人」の行動を順を追って整理する。</p> <p>5 「下人」の内面の変化を順を追って整理する。(手引き2)</p> <p>6 第二段を読み、「下人」の目が捉えた「羅生門」の楼上の情景を整理する。</p> <p>7 「下人」と「老婆」について、比喩で表現した箇所を抜き出し、比喩の効果について考え、まとめる。</p> <p>8 第三段、第四段を読み、「下人」と「老婆」の行動を順を追って整理する。</p> <p>9 「なるほどな、……大目に見てくれるである。」に述べられた「老婆」の主張について考え、それを聞いた「下人」が「引剥ぎ」をしようと思った理由を考える。(手引き4・言語活動1)</p> <p>10 「下人」の内面の変化を、変化のきっかけと関連づけながら、整理する。(手引き2・3-2・4)</p> <p>11 「黒洞々たる夜」という表現に留意して、「老婆」のその後について考える。</p> <p>12 「下人の行方は、誰も知らない。」という終わりを踏まえて、「下人」がこの後、どうなったのかを想像し、話し合う。(手引き5)</p> <p>13 小説の主題について、自分なりに考えて文章にまとめた後、発表する。</p>		○	○	○	○	<p>【知】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 <p>【思】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【態】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで本文の構成や場面の展開、表現の特色を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情の変化を読み取り、主題について考えようとしている。 	8
---	---	---	--	---	---	---	---	--	---

<p>○「元になった古典作品と読み比べよう」</p> <p>【知】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。</p> <p>【思】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深める。</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつ。</p> <p>【態】 ・進んで古典を元にして作られた作品についての理解を深め、学習課題に沿って、古典を元にして作られた作品と原作との違いや創作性について考えようとする態度を養う。</p>	<p>1 古典作品を元にかかれた作品について理解する。</p> <p>2 原作（89 ページ）の本文のA～Dについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの（1）～（3）のいずれに該当するか考える。</p> <p>3 2をもとに原作と「羅生門」を比較し、「羅生門」で省略・変更されている点が果たす役割について考える。</p> <p>4 原作の波線ア～エについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの（1）～（3）のいずれに該当するか考える。（課題1）</p> <p>5 1で検討した中から、重要だと思うものを選び、「羅生門」の創作性にとってどのような意味を持つか、自分の考えをまとめ、話し合う。（課題2）</p> <p>6 原作の後半部分（92 ページ）の波線オ～ケについて、「羅生門」で対応する箇所を探し、88 ページの（1）～（3）のいずれに該当するか考える。（課題3）</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】 言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。</p> <p>【思】 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。</p> <p>・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。</p> <p>【態】 ・進んで古典を元にして作られた作品についての理解を深め、学習課題に沿って、古典を元にして作られた作品と原作との違いや創作性について考えようとしている。</p>	2
<p>○「漢字の読み書き」</p> <p>【知】 常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。</p>	<p>1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。</p> <p>2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。</p> <p>3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができている。</p> <p>【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。</p>	4

3	<p>○「古文に親しむ」</p> <p>【知】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解する。</p> <p>【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</p> <p>【態】 ・進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとする。</p>	<p>1 古文と現代文の違いについて確認する。</p> <p>2 古文の代表作品の冒頭を音読する。</p> <p>3 現代とは仮名遣いが違うことを知る。</p> <p>4 暗唱し、古文のリズムや調子を体感する。 (手引き 1・2)</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。</p> <p>【思】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【態】 ・進んで音読して古典の世界に親しみ、学習課題に沿って古文のリズムや調子を感じ取ろうとしている。</p>	3
	<p>○「児のそら寝」</p> <p>【知】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解する。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・文章の意味は、文脈の中で</p>	<p>1 本文を音読し、歴史的仮名遣いに慣れる。 (手引き 1・古文学習のしるべ1)</p> <p>2 児の気持ちの変化を整理し、最後の描写の意味について考える。 (手引き 2・3)</p> <p>3 現代語訳する際の注意点を理解する。(古文学習のしるべ1)</p>	○	○	○	○	○	<p>【知】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解している。</p>	3

<p>形成されることを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現などについて理解する。 ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 <p>【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉える。</p> <p>【態】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとする態度を養う。</p>								<ul style="list-style-type: none"> ・時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 <p>【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。</p> <p>【態】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。</p>	
<p>○「漢字の読み書き」</p> <p>【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとする。</p>	<p>1 部首や熟語の構成、熟語の意味を学ぶ。</p> <p>2 小テストを行い、学習の習熟状況を確認する。</p> <p>3 学習の習熟に遅れがみられる場合には課題を課したり、補習を行ったりして個別指導を行う。</p>	○	○	○	○	○	○	<p>【知】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うことができる。</p> <p>【態】 ・自ら進んで、常用漢字の読み・書きを学習し、実社会で必要な読み書きの能力を身につけようとしている。</p>	4
評価方法	定期考査(3回)、小テスト、ノート、提出課題、授業への取り組み等						配当時間合計	35	

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

数学 I

教科名	数学	科目名	数学 I	単位数	2 単位
学年・類型	1 学年・全類型		担当教員		
使用教科書・教材	数 I 708 「高校数学 I」 実教出版				

教科の目標 数学科 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする	数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	(1) 数と式, 2 次関数, 三角比, 集合と論証, 及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			知	思	態		
1	<p>・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。</p>	<p>Warm-up (p 4～7) 数の計算法則 1. 加法と減法 2. 乗法 3. 素因数分解 4. 除法 5. 分数と除法</p> <p>1章 数と式 1節 整式 1. 文字を含んだ式のきまり 2. 整式 3. 整式の加法・減法 4. 整式の乗法</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 ・数の四則計算に習熟できる ・素因数分解ができる。 ・素因数分解を利用して分数計算や数の除法ができる・単項式と多項式について理解できる。 (発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・同類項をまとめることや、かっこを外すことを利用して、整式の加法・減法を考察できる。 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 (発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・数の計算に乘法公式や因数分解の公式が利用できることに興味を持ち、その計算に公式を利用しようとしている。 (授業態度・課題提出)</p>	28
2	<p>・式の見方を豊かにするとともに、整式の加法・減法・乗法、および因数分解について理解を深め、公式などを利用して式の展開や因数分解を能率よく計算できるようにする。</p>	<p>1章 数と式 1節 整式</p> <p>5. 乘法公式による展開 6. 因数分解</p>	○	○	○	<p>【知識・技能】 ・乘法公式や因数分解の公式の理解を深めることができる。 ・式の展開や因数分解を、公式を利用して処理することができる。 (発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【思考・判断・表現】 ・特定の文字に着目したり、式を1つの文字で置き換えたりして、式を多面的に捉えることができる。 ・式の展開と因数分解の相互の関係がわかる。 (発問評価・課題提出・定期考査)</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとしている。 ・数の計算に乘法公式や因数分解の公式が利用できることに興味を持ち、その計算に公式を利用しようとしている。 (授業態度・課題提出)</p>	28

3	<p>・数を実数まで拡張することの意義を理解し、実数の概念や平方根を含む計算の基本的な考え方について理解する。</p> <p>・分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを理解する。</p>	<p>2節 実数</p> <p>1. 平方根とその計算</p> <p>2. 実数</p>	○	○	○	<p>【知識・理解】”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数を実数まで拡張することの意義を理解している。 ・$\sqrt{\quad}$を含む式の四則計算ができる。 ・分母の有理化ができる。 ・いろいろな数を、自然数、整数、有理数、無理数で分類することができる。 <p>(発問評価・課題提出・定期考査)”</p> <p>【思考・判断・表現】”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分数が、有限小数や循環小数で表される仕組みを考察することができる。 ・分母を有理化する意義がわかる。 ・循環小数を分数で表すことを考察できる。 ・数を拡張してきた過程や数の四則計算の可能性について考察できる。 <p>(発問評価・課題提出・定期考査)”</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】”</p> <ul style="list-style-type: none"> ・$\sqrt{\quad}$を含む式の計算に関心を持ち、いろいろな計算に積極的に取り組もうとしている。 ・数の体系を実数まで拡張する意義に気付くとともに、数を拡張していく過程に関心を持ち、調べようとしている。 <p>(授業態度・課題提出)”</p>	14
評価方法	<p>各単元において下記の3観点で評価し、総合的に評価をする。</p> <p>①知識理解 発問評価・課題提出・定期考査による</p> <p>②思考・判断・表現 発問評価・課題提出・定期考査による</p> <p>③主体的に学習に取り組む態度 授業態度・課題提出による。</p>					配当時間合計	70

- ・工業高校の特性を活かし、関数電卓等の使用も取り入れた授業を、生徒の実態に合わせ行う場合もある。
 - ・各期末考査後の時間などを利用して「集合と論証」「データの分析」を取り扱う。
- ※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

英語コミュニケーション I

教科名	外国語	科目名	英語	英語コミュニケーション I	単位数	2 単位
学年・類型	1 学年		必修		担当教員	
使用教科書・教材	東京書籍		All Aboard! English Communication I			

教科の目標 外国語（英語）科 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・外国語についての音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。 	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

科目 英語コミュニケーション I の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	実際に英語を用いた言語活動を通して、五つの領域別の目標を達成するのにふさわしいものについて理解するとともに、言語材料と言語活動とを効果的に関連付け、実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、これらを論理的に適切な英語で表現することができる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			聞	読	話〔や〕	話〔発〕	書	知	思	態		
1	<p>・身近な日常生活の中にある英語の単語を書き、発音を確認する。英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。</p> <p>・授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習し、実際に使ってみる。</p> <p>・辞書の使い方と役に立つ用語について学習する。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。辞書を使って単語を調べられるようにする。また、疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。</p> <p>・be 動詞、一般動詞を用いた文</p>	<p>○Warm-Up 1 アルファベット</p> <p>[題材内容] 身近な日常生活の中にある英語の単語を書き、発音を確認する。</p> <p>[言語活動] 英語のアルファベットを使って単語を正確に書き、発音する。</p>	○	○			○	○			<p>[知識]アルファベットについて、その決まり事などを理解している。</p> <p>[技能]アルファベットを正しく認識し、書くことができる技能を身につけている。</p>	25
		<p>○Warm-Up 2 教室で使う表現</p> <p>[題材内容] 授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を学習する。</p> <p>[言語活動] 授業における典型的な場面でよく使われる英語表現を理解し、実際に使ってみる。</p>	○	○	○			○	○	○	<p>[知識]教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを理解している。</p> <p>[技能]教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている。</p> <p>[思]教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使っている。</p> <p>[態]教室で使う表現について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使おうとしている。</p>	
		<p>○Warm-Up 3 辞書の使い方／疑問詞</p> <p>[題材内容] 辞書の使い方と役に立つ用語について学習する。疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。</p> <p>[言語活動] 辞書を使って単語を調べてみる。疑問詞のある疑問文と答え方を学習する。</p>	○	○	○		○	○			<p>[知識]辞書の使い方/疑問詞について、その使い方や使う場面などを理解している。</p> <p>[技能]辞書の使い方/疑問詞について、その使い方や使う場面などを正しく認識し、適切に使うことができる技能を身につけている。</p>	
		<p>○Pre-Lesson 1 My Name Is Ito Neko</p>	○	○	○		○	○	○	○	<p>[知識] be 動詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能]自分の名前・性格・特徴などを、be</p>	

<p>の形・意味・用法を理解する。</p> <p>・動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解する。</p>	<p>[言語材料] be 動詞</p> <p>○Pre-Lesson 2 I Like Junk Food!</p> <p>[言語材料] 一般動詞</p> <p>○Lesson 1 Breakfast around the World</p> <p>[題材内容] 世界の朝食を紹介するスピーチを通して、その特徴や相違を学習する。</p> <p>[言語材料] 過去形</p> <p>[言語活動] 好きな食べ物について、英語で述べることができる。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>動詞を用いて、相手に伝える技能を身につけている。</p> <p>[思]自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えている。</p> <p>[態]自分の名前・性格・特徴などを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。自分の日常の行動や食べ物の好みなどを整理して、相手が理解しやすいように伝えようとしている。</p> <p>[知識]動詞の過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、世界の朝食について学んだ事柄や好きな食べ物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。</p> <p>[技能]世界の朝食について学んだ事柄を用いて、好きな食べ物について、考えや好み、その理由を話して伝える技能を身につけている。また、過去にしたことについて動詞の過去形を用いて伝え合う技能を身につけている。</p> <p>[思]世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>[態]世界の朝食に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな食べ物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、自分の考えや好み、その理由を話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>
--	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2	<p>・進行形〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解する。</p>	<p>○Lesson 2 Australia' s Cute Quokkas</p> <p>[題材内容] オーストラリアの珍しい野生動物クオッカと観光のルールについて学習する。</p> <p>[言語材料] 進行形：〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉</p> <p>[言語活動] 好きな動物について、英語で述べるができる。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>[知識] 進行形〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。また、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄や好きな動物について、自分の考えや好み、その理由などを整理・理解している。</p> <p>[技能] 進行形〈be 動詞＋動詞の-ing 形〉の理解をもとに、オーストラリアに生息する珍しい野生動物について学んだ事柄を用いて、好きな動物について、考えや好み、その理由などを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>[思] オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>[態] オーストラリアに生息する珍しい野生動物に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、好きな動物について、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、考えや好み、その理由などを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	30
<p>・助動詞 can, will を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、列車運転士の職業観の紹</p>	<p>○Lesson 3 A Train Driver in Sanriku</p> <p>[題材内容] 被災地を運行する列車運</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>[知識] 助動詞 can, will を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] 列車運転士の職業観の紹介やある場所への行き方とそこで</p>		

<p>介やある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、助動詞 can, will を用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につける。</p>	<p>転士のスピーチを通して、職業の意義について考える。</p> <p>[言語材料] 助動詞：can, will</p> <p>[言語活動] ある場所への行き方とそこでできることについて、英語で述べるができる。</p>						<p>できること、自分ができること・できないことについて、助動詞 can, will を用いて、情報や考えを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>[思]被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>[態]被災地域で働く列車運転士に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ある場所への行き方とそこでできること、自分ができること・できないことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考えを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>
---	---	--	--	--	--	--	---

3	<p>・ to 不定詞〈to + 動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解する。また、ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to 不定詞〈to + 動詞の原形〉を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につける。</p>	<p>○Lesson 4 A Miracle Mirror</p> <p>[題材内容] 海外の観光地について書かれたメールを通して、その魅力について学習する。</p> <p>[言語材料] to 不定詞：〈to + 動詞の原形〉</p> <p>[言語活動] 行ってみたい場所について、英語で述べることができる。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>[知識] to 不定詞〈to + 動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>[技能] ウユニ塩原でやりたいこと、行ってみたい場所ややりたいことについて、to 不定詞〈to + 動詞の原形〉を用いて、情報や考え、気持ちを話して伝え合う技能を身につけている。</p> <p>[思] ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合っている。</p> <p>[態] ある場所に関して書かれた文章について、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、行ってみたい場所ややりたいことについて、相手の意見を知り、自分の考えをまとめるために、情報や考え、気持ちを話したり書いたりして伝え合おうとしている。</p>	1 5
評価方法	授業での取り組み、発言 定期考査、小テスト ファイル提出										配当時間合計	70

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

公共

教科名	公民	科目名	公共	単位数	2 単位
学年・類型	1 学年 総合技術科		担当教員		
使用教科書・教材	高等学校 新公共 (第一学習社) 新公共 (第一学習社) 担当教員オリジナルプリント				

教科の目標 公民 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	現代の諸問題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に研究する。特に憲法問題について考える。	現代社会の諸問題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を駅な空間における基本原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりする。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸問題を主体的に解決しようとしている。国の諸制度の妥当性にも触れる。

科目 公共 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国初の、というより現憲法の精神を受けて民法典第一条に追加された第三項「公共のためには権利の濫用を許さず」の法的位置づけを知り、考察する。宇奈月温泉事件を例にとる。	我が国初の、というより当該事案と現憲法の「相受け入れざる点を最高裁大法廷判決の「尊属殺人重大規定」に見、昭和 46 年の違憲法令審査権の発動に至った経緯を人命の尊重の云々に切り込む。	我が国の裁判制度を裁判員制度、刑罰の軽重、不適に鑑み、近年の立法に見られる努力目標的な案件を調べ、導入の経緯、運用、効果を高校生でも当事者になり得る可能性と、もしそうなった場合の対処について考察する。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			知	思	態		
1	<p>第1篇公共の扉</p> <p>[知] 自らの体験などを通し、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを理解している。 ・伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解している。 ・自分自身が自主的によりよい公共的な空間を作り出し、自らのキャリア形成とともに、よりよい社会の形成に結び付くことを理解している。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解している。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、上に示す考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解している。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けている。 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊 	<p>社会に生きる私たちの自覚を促す</p> <p>個人の尊厳と自主・自立 多様性と共通性 伝統文化とのかかわり 自立した主体をめざして人間と社会の在り方についての見方・考え方</p> <p>人間の尊厳と平等、個人の尊厳 民主主義と法の支配 事由。権利と責任・責務 日本国憲法に生きる基本的原理</p> <p>法や規範の意義の役割</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 私たちと法 ② 法と基本的人権 ③ 事由に生きる権利と法・規範 ④ 平等に生きる権利と法・規範 ⑤ 安全で豊かに生きる権利と法・規範 ⑥ 法をより良いものにするための権利 <p>契約と消費者の権利・責任</p> <ol style="list-style-type: none"> ① さまざまな契約と法 ② 消費者の権利と責任 <p>司法参加の意義</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 裁判所と司法 ② 国民の司法参加 <p>政治参加と公正な世論形成</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 私たちと選挙 ② 選挙の現状と課題 ③ 世論の形成と政治参加 ④ 国会と法 ⑤ 内閣と行政 ⑥ 地方自治と住民福祉 <p>国際社会と国家主権</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国家と国際法 ② 国境と領土問題 ③ 国際連合の役割割と課題 	○	○	○	<p>[知] 自らの体験などを通し、自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であることを理解できている。 ・伝統や文化、先人の取り組みや知恵に触れたりすることなどを通して、自らの価値観を形成するとともに、他者の価値観を尊重することができるようになる存在であることについて理解できている。 ・自分自身が自主的によりよい公共的な空間を作り出し、自らのキャリア形成とともに、よりよい社会の形成に結び付くことを理解できている。 ・選択・判断の手掛かりとして、行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方や、行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などについて理解できている。 ・現代の諸課題について自らも他者も共に納得できる解決方法を見出すことに向け、上に示す考え方を活用することを通して、行為者自身の人間としての在り方生き方について探求することが、よりよく生きていく上で重要であることについて理解できている。 ・人間としての在り方生き方に関わる諸資料から、よりよく生きる行為者として活動するために必要な情報を収集し、読み取る技能を身に付けていた。 ・各人の意見や利害を公平・公正に調整することなどを通して、人間の尊厳と平等、協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが、公共的な空間を作る上で必要であることについて理解できている。 	22

<p> 厳と平等，協働の利益と社会の安定性の確保を共に図ることが，公共的な空間を作る上で必要であることについて理解している。 ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解している。 [思] 公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えている。 ・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・幸福，正義，公正などに着目して考えている。 ・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現している。 ・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 [態] 公共的な空間をつくる私たちについて，現代の諸課題を主体的に解 </p>	<p> 日本の安全保障と防衛 ① 平和主義と安全保障 ② 日本の安全保障体制の変容 ③ 核兵器の廃絶と国際平和 国際社会の変化と日本の役割 ① 今日の国際政治 ② 人権・民族問題と地域紛争 ③ 国際社会における日本の役割 </p>		<p> ・人間の尊厳と平等，個人の尊重，民主主義，法の支配，自由・権利と責任・義務など，公共的な空間における基本的原理について理解できている。 [思] 公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などに着目して考えられる。 ・社会に参画する自立した主体とは，孤立して生きるのではなく，地域社会などの様々な集団の一員として生き，他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることについて，多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・幸福，正義，公正などに着目して考えられる。 ・倫理的価値の判断において，行為の結果である個人や社会全体の幸福を重視する考え方と，行為の動機となる公正などの義務を重視する考え方などを活用し，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすことに向け，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，人間としての在り方生き方を多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・公共的な空間における基本的原理について，思考実験など概念的な枠組みを用いて考察する活動を通して，個人と社会との関わりにおいて多面的・多角的に考察し，表現している。 [態] 公共的な空間をつくる私たちについて，現代の諸課題を主体的に解決することができる。 ・公共的な空間における人間としてのあり方生き方について，選択・判断の手掛かりとなる考え方活用し </p>	
--	--	--	--	--

<p>決しようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における人間としてのあり方生き方について、選択・判断の手掛かりとなる考え方も活用しながら、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・公共的な空間における基本的原理をふまえて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 			<p>ながら、現代の諸課題を主体的に解決できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共的な空間における基本的原理をふまえて、現代の諸課題を主体的に解決できる。 	
<p>定期考査</p>		<p>○ ○</p>		<p>2</p>
<p>2</p> <p>第3章 経済的な主体となる私たち</p> <p>[知]・雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済の基本的なしくみや考え方を理解している。 ・労働に関わる法や権利を理解している。 ・雇用事情の変化と様々な労働問題を理解し、問題を解決するための取り組みを理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・社会の変化と職業観に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・戦後の日本経済のあゆみについて理解し、現代の課題について理解している。 ・技術革新の進展による産業構造や生活の変化について理解している。 ・企業のはたらきと社会的責任について理解している。 ・中小企業や農林水産業の課題を理解し、その解決のためにどのような取り組みが行われているのかを理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・市場経済の機能と限界 	<p>雇用と労働問題</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 私たちと経済 ② 労働者と権利 ③ 労働環境と課題 <p>社会の変化と価値観</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 日本経済のこれまでのこれから ② 技術革新の進展 ③ 現代の企業 ④ 中小企業の現状の役割 ⑤ 日本の農林水産業 <p>市場経済の機能と限界</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 市場経済と経済運営 ② 市場のしくみ ③ 経済発展と環境保全 ④ 国民所得と私たちの生活 ⑤ 経済成長と国民の福祉 <p>金融の働き</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 金融の意義と役割 ② 金融のいま <p>財政の役割と社会保障</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 財政の仕組みと ② 日本の財政の課題 ③ 社会保障と国民福祉 ④ これからの社会保障 <p>経済のグローバル化</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 国際分業と貿易 ② 国際収支と国際経済体制 ③ 外国為替相場の動き ④ グローバル化する経済 ⑤ 地域的経済統合 ⑥ 国際社会における貧 	<p>○ ○ ○</p>	<p>[知]・雇用と労働問題に関わる現実社会の事柄や課題を理解できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済の基本的なしくみや考え方を理解している。 ・労働に関わる法や権利を理解できている。 ・雇用事情の変化と様々な労働問題を理解し、問題を解決するための取り組みを理解できている。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。 ・社会の変化と職業観に関わる現実社会の事柄や課題を理解できている。 ・戦後の日本経済のあゆみについて理解し、現代の課題について理解している。 ・技術革新の進展による産業構造や生活の変化について理解できている。 ・企業のはたらきと社会的責任について理解できている。 ・中小企業や農林水産業の課題を理解し、その解決のためにどのような取り組みが行われているのかを理解できている。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。 ・市場経済の機能と限界に関わる現実社会の事柄や課題を理解できている。 ・経済における政府の関わり方を理解できている。 ・市場の基本である需要と 	<p>24</p>

<p>に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済における政府の関わり方を理解している。 ・市場の基本である需要と供給との関係について理解している。 ・公害問題と環境保全について理解している。 ・国民所得や景気変動の種類やしきみについて理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・金融機関の役割と金融政策、金融における技術革新について、生活との関わりのなかで理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・財政の意義やしきみ、日本の財政の課題を理解している。 ・社会保障の意義やしきみ、日本の社会保障制度の課題を理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 ・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解している。 ・貿易の必要性や自由貿易と保護貿易の違いを理解している。 ・国際収支の種類と、国際収支の均衡のための国際機関の機能を理解している。 ・円高・円安のしきみと影響について具体的に理解している。 ・経済のグローバル化の正負の側面、グローバル 	<p>困や格差</p> <p>⑦ 地球環境問題</p> <p>⑧ 資源・エネルギー問題</p> <p>⑨ 国際社会のこれから</p>		<p>供給との関係について理解できている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公害問題と環境保全について理解できている。 <ul style="list-style-type: none"> ・国民所得や景気変動の種類やしきみについて理解できている。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。 ・金融のはたらきに関わる現実社会の事柄や課題を理解できている。 ・金融機関の役割と金融政策、金融における技術革新について、生活との関わりのなかで理解できている。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。 ・財政の役割と社会保障に関わる現実社会の事柄や課題を理解できている。 ・財政の意義やしきみ、日本の財政の課題を理解できている。 ・社会保障の意義やしきみ、日本の社会保障制度の課題を理解できている。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。 ・経済のグローバル化に関わる現実社会の事柄や課題を理解できている。 ・貿易の必要性や自由貿易と保護貿易の違いを理解できている。 ・国際収支の種類と、国際収支の均衡のための国際機関の機能を理解できている。 ・円高・円安のしきみと影響について具体的に理解できている。 ・経済のグローバル化の正負の側面、グローバル化が日本経済にどのような影響を与えているかを理解できている。
---	--	--	---

<p>化が日本経済にどのような影響を与えているかを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域的経済統合の種類や課題について理解している。 ・南北問題の原因や発展途上国の抱える問題について理解している。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けている。 <p>[思]・法分野の基本的な人権とも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・歴史や情報など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現している。 ・歴史など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働 			<ul style="list-style-type: none"> ・地域的経済統合の種類や課題について理解できている。 ・南北問題の原因や発展途上国の抱える問題について理解できている。 ・現実社会の諸課題に関わる諸資料から、自立した主体として活動するために必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けることができる。 <p>[思]・法分野の基本的な人権とも関連させ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。 ・歴史や情報など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。 ・歴史など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。 ・家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ、幸福、正義、公正などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを、論拠をもって表現できる。
--	--	--	--

<p>して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭科など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 ・少子高齢化・人口減少などの社会背景をふまえ，幸福，正義，公正などに着目して考えている。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 ・地理など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現している。 <p>[態] ・雇用と労働問題について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化と職業観について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えようとしている。 ・市場経済の機能と限界について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・少子高齢化・人口減少などの社会背景をふまえ，幸福，正義，公正などに着目して考えることができる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現できる。 ・地理など他教科で学んだ知識もふまえ，幸福，正義，公正などに着目して，政治分野の国際機関の取り組みなどとも関連させ，多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現できる。 <p>[態] ・雇用と労働問題について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化と職業観について，現代の諸課題を主体的に解決し，自分の将来のあり方について考えることができる。 ・市場経済の機能と限界について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしていた。 ・金融のはたらきについて，現代の諸課題を主体的に解決しようとしていた。 ・自分の生き方もふまえ，自分の資産の扱いについてどうすべきかを考えようとしていた。 ・財政の役割と社会保障について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしていた。 ・経済のグローバル化について，現代の諸課題を主体的に解決しようとしていた。 ・国際社会の貧困や格差の問題の解決について，自分自身の問題として理解し，解決するための具体的な行動をとることができる。
---	--	--	---

<ul style="list-style-type: none"> ・金融のはたらきについて、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・自分の生き方もふまえ、自分の資産の扱いについてどうすべきかを考えようとしている。 ・財政の役割と社会保障について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・経済のグローバル化について、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・国際社会の貧困や格差の問題の解決について、自分自身の問題として理解し、解決するための具体的な行動をとっている。 						
<p>定期考査</p>		○	○			2
<p>3</p> <p>第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>[知] 地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命倫理，情報，国際社会の課題に関して，これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解している。</p> <p>[思] 地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を関連させ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現している。 ・その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述している。 <p>[態] 地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命倫理，情報，国際社会の課題に関する現代の諸課題を，主体的に解決し</p>	<p>持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 排出権取引を考える～地球環境問題 ② ベストミックスを考える～資源・エネルギー問題 ③ ゲノム編集を考える～生命倫理 ④ インターネットによる投票を考える～情報 ⑤ フェアトレードを考える～国際社会の課題 	○	○	○	<p>[知] 地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命倫理，情報，国際社会の課題に関して，これまで学んだ内容や課題を解決するための知識を理解できる。</p> <p>[思] 地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだすことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習を関連させ，幸福，正義，公正などに着目して，多面的・多角的に考察し，表現できる。 ・その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述することができる。 <p>[態] 地球環境問題，資源・エネルギー問題，生命倫理，情報，国際社会の課題に関する現代の諸課題を，主体的に解決しようとしていた。</p>	19

	ようとしている。						
	定期考査		○	○			1
評価方法	定期考査（1学期中間・期末／2学期中間・期末／3学期年度末／計5回） サブノート達成状況 発問評価・授業態度					配当時間合計	70

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

体育

教科名	保健体育	科目名	体育	単位数	2 単位
学年・類型	1 学年・共通		担当教員		
使用教科書・教材	現代高等保健体育（大修館書店）				

教科の目標 保健体育 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 体育 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他社に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	担当時間
			知	思	態		
1	<ul style="list-style-type: none"> 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり、書きだすことができるようにする。 サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができるようにする。 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができるようにする。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとするようにする。 	オリエンテーション 体づくり運動 バドミントン スポーツテスト バドミントン 体育理論	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。 サービスでは、ボールをねらった場所に打つことができる。 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 	28
2	<ul style="list-style-type: none"> 球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることを理解することができるようにする。 ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができるようにする。 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができるようにする。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとするようにする。 	バスケットボール 体育理論 サッカー 体育理論	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 球技の各型の各種目において用いられる技術や戦術、作戦には名称があり、それらを身に付けるためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 ゴールの枠内にシュートをコントロールすることができる。 体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 	28

3	<ul style="list-style-type: none"> ・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができることを理解できるようにする。 ・自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができるようにする。 ・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができるようにする。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとするようにする。 	陸上競技 体育理論	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・技術と関連させた運動や練習を繰り返したり，継続して行ったりすることで，結果として体力を高めることができることについて，言ったり書き出ししたりしている。 ・自己の体力や技能の程度に合ったペースを維持して走ることができる。 ・体力や技能の程度，性別等の違いに配慮して，仲間とともに球技を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦及び修正などを大切にしようとしている。 	14
評価方法	授業観察、学習カード、提出物等					配当時間合計	70

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

保健

教科名	保健体育	科目名	保健	単位数	1 単位
学年・類型	1 学年・共通		担当教員		
使用教科書・教材	現代高等保健体育（大修館書店）				

教科の目標 保健体育 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身につけるようにする。	運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他社に伝える力を養う。	生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			知	思	態		
1	<ul style="list-style-type: none"> 国民の健康課題について、我が国の死亡率、受療率、平均寿命、健康寿命等、各種の指標や疾病構造の変化を通して理解できるようにする。 喫煙や飲酒は、生活習慣病などの要因となり心身の健康をそこねることを理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会と健康における事象や情報などについて、健康にかかわる原則や概念をもとに整理したり、個人及び、社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見することができる。 生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組及び社会的な対策を整理することができる。 	14
2	<ul style="list-style-type: none"> 麻薬、覚醒剤、大麻等、薬物の乱用は心身の健康、社会の安全などに対して深刻な影響を及ぼすことから、決して行ってはならないことを理解できるようにする。 適切な意思決定や行動選択には、個人の知識、価値観、心理状態、及び人間関係などを含む社会環境が関連していることを理解できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 飲酒と健康 薬物乱用と健康 精神疾患の特徴 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 飲酒、薬物乱用の防止について、我が国のこれまでの取り組みを個人への働きかけと社会環境への対策の面から分析したり、諸外国と比較したりして、防止策を評価することができる。 現代社会と健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明することができる。 	14
3	<ul style="list-style-type: none"> 適切な応急手当は、傷害や疾病の悪化を防いだり、傷病者の苦痛を緩和したりすることを理解できるようにする。 日常生活で起こる障害や、熱中症などの疾病の際には、それに応じた体位の確保・止血・固定などの基本的な応急手当の方法や手順があることを、実習を通して理解し、応急手当ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 応急手当について、習得した知識や技能を事故や災害で生じる傷害や疾病に関連付けて、悪化防止のための適切な方法に応用することができる。 安全な社会生活について、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、道筋を立てて説明することができる。 	7
評価方法	定期考査、提出物等					配当時間合計	35

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

美術 I

教科名	芸術（美術）科	科目名	美術 I	単位数	2 単位
学年・類型	1 学年		担当教員		
使用教科書・教材	日文 高校生の美術 I				

教科の目標 芸術（美術）科 の目標

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

科目 美術 I の目標

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
趣旨	対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができる。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価の観点			単元の(題材)の評価規準	配当時間
			絵・彫	デ	映		知	思	態		
1	○木彫表札 [知]フォントの造形的な理解と木彫表札へ応用させるために必要な技能を身に付けさせる。 [思]フォントの造形的に美しさを木彫表札に表現する発想力や構想力を身につけさせる。 [態]フォントが持つ社会的な関わりを理解して木彫表札の表現制作に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・レンダリングの学習を通して、フォントとして美しい造形を理解させる。 ・「木彫表札」の楽手を通して浅浮き彫りとカミュー塗の技術を習得させる。	○	○		○	○	○	[知]フォントの造形的な理解と木彫表札へ応用するために必要な技能を身につけている。 [思]フォントの造形的な美しさを木彫表札に表現する発想力や構想力を身につけている。 [態]フォントが持つ社会的な関わりを理解して木彫表札の表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。	26	
2	○木彫文箱 [知]自然の花の造形的理解と木彫文箱へ応用するために必要な技能を身に付けさせる。 [思]自然の花から美しい丸文様の造形にデザインし、さらに木彫文箱に表現する発想力や構想力を身に付けさせる。 [態]さまざまなものの中にある衣装が心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して木彫文箱の表現制作に主体的に取り組む態度を身につけさせる。	・自然の花のデザイン楽手を通して丸文様の美しい造形を理解させる。 ・「木彫文箱」の学習を通して深浮き彫りとワックス仕上げの技術を習得させる	○	○		○	○	○	[知]自然の花の造形的理解と木彫文箱へ応用するために必要な技能を身につけている。 [思]自然の花から美しい丸文様の造形にデザインし、さらに木彫文箱に表現する発想力や構想力を身につけている。 [態]様々なものの中にある意匠が心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して木彫文箱の表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。	26	
3	○ペーパーナイフ [知]道具のデザインの造形的理解とペーパーナイフに応用するために必要な技能を身につけている。 [思]自然の中から道具として美しい形を発見し、表現する発想力や構想力を身につけさせる。 [態]様々にデザインされた道具は、心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して、ペーパーナイフの表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。	・道具のデザイン学習を通して、ペーパーナイフの美しい造形を理解させる。 ・「ペーパーナイフ」の学習を通して、透かし彫りとやすりがけ成形の技術を習得させる。	○	○		○	○	○	[知]道具のデザインの造形的理解とペーパーナイフに応用するために必要な技能を身につけさせる。 [思]自然の中から道具として美しい形を発見し、表現する発想力や構想力を身につけさせる。 [態]様々にデザインされた道具は心豊かに暮らすために深く関わっていることを理解して、ペーパーナイフの表現制作に主体的に取り組む態度を身につけている。	18	
評価方法		[知]、[思]、[態] と出席状況							配当時間合計	70	

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

書道 I

教科名	芸術（書道）	科目名	書道 I	単位数	2 単位
学年・類型	1 学年		担当教員		
使用教科書・教材	書道 I（東京書籍）				

教科の目標 芸術（書道）科 の目標

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。 	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい深く捉えたりしている。</p>	<p>書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。</p>

科目 書道 I の目標

観点	a：知識・技能	b：思考・判断・表現	c：主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付ける。</p>	<p>書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書的美を味わい捉えたりすることができる。</p>	<p>主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度。</p>

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			漢 仮	漢	仮		知	思	態		
1	<p>○楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆</p> <p>[知]（表現）楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>（鑑賞）・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解している。</p> <p>（技能）楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>[思] 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。</p> <p>[態] 自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>	<p>・漢字の書</p> <p>・楷書</p>	○			○	○	○	○	<p>[知]（表現）楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解していた。</p> <p>（鑑賞）・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本及び中国等の文字と書の伝統と文化について理解していた。</p> <p>（技能）楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けていた。</p> <p>[思] 楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫していた。</p> <p>[態] 自身の表現の意図に基づく表現、楷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしていた。</p>	24
2	<p>○漢字の書体の変遷、書の伝統的な干渉方法や形態</p> <p>[知]（鑑賞）日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。</p> <p>（技能）・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>・草書・隸書の各古</p>	<p>・行書</p> <p>・草書</p> <p>・隸書</p> <p>・年賀状</p>	○	○	○	○	○	○	○	<p>[知]（鑑賞）日本及び中国等の文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解していた。</p> <p>（技能）・行書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けていた。</p> <p>・草書・隸書の各古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典</p>	26

	<p>典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けている。</p> <p>[思] 漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <p>(表現) ・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。</p> <p>・草書・隸書の各古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。[態] 書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p> <p>(表現) ・自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・自身の表現の意図に基づく表現、草書・隸書・篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p>									<p>の線質、字形や構成を生かした表現を身に付けていた。</p> <p>[思] 漢字の書の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えていた。</p> <p>(表現) ・行書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫していた。</p> <p>・草書・隸書の各古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫していた。</p> <p>[態] 書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしていた。</p> <p>(表現) ・自身の表現の意図に基づく表現、行書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしていた。</p> <p>・自身の表現の意図に基づく表現、草書・隸書・篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしていた。</p>	
3	<p>○日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立</p> <p>[知] (鑑賞) ・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解している。</p> <p>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成</p>	<p>・仮名の書</p> <p>・漢字仮名交じりの書</p> <p>・硬筆</p>	○		○	○	○	○	○	<p>[知] (鑑賞) ・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立について理解していた。</p> <p>・線質、字形、構成等の要素と表現効果や風趣との関わり、日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解して</p>	20

<p>立、書の伝統的な鑑賞の方法や形態について理解している。</p> <p>(表現)・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。</p> <p>(技能)・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けている。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 <p>[思] (表現)・仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫している。 <p>(鑑賞)・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えている。 <p>[態] (表現)・自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の表現の意図 					<p>いた。</p> <p>(表現)・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解していた。</p> <p>(技能)・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、連綿と単体、線質や字形を生かした表現を身に付けていた。 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わり、名筆や現代の書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解していた。 <p>[思] (表現)・仮名の古典の書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫していた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成、目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現、名筆を生かした表現や現代に生きる表現について構想し工夫していた。 <p>(鑑賞)・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えていた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮名の古典の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えていた。 ・創造された作品の価値とその根拠について考え、書のよさや美しさを味わって捉えていた。 <p>[態] (表現)・自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしていた。
---	--	--	--	--	---

	<p>に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>(鑑賞) ・漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p> <p>・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p> <p>・漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしている。</p>									<p>・自身の表現の意図に基づく表現、漢字仮名交じりの書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしていた。</p> <p>(鑑賞) ・漢字の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしていた。</p> <p>・仮名の書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしていた。</p> <p>・漢字仮名交じりの書のよさや美しさを甘受し、作品や書の意味や価値について考えながら、幅広い鑑賞の学習に取り組もうとしていた。</p>	
評価方法	作品、授業態度								配当時間合計	70	

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

工業技術基礎

教科名	工業科	科目名	工業技術基礎	単位数	4 単位
学年・類型	1 学年・総合技術科		担当教員		
使用教科書・教材	実教出版「工業技術基礎」 プリント				

教科の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 工業技術基礎 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	工業の各分野に関する基礎的な知識と技術を身につけ、工業の発展と環境・資源などとの調和のとれた在り方および現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、実体験の必要性を学び、その改善向上をめざす実践的な技能を身につけている。	工業技術に関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから考え、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現する能力を身につけている。	工業技術に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展をはかる創造的、実践的な態度を身につけている。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			知	思	態		
1	<p>○工業技術基礎を学ぶにあたって</p> <p>【知】「工業技術基礎」の学ぶ目的を理解させ、ものづくりが工業技術の中で果たしている役割についての知識と技能を身につけさせる。</p> <p>【思】「工業技術基礎」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけさせる。</p> <p>【態】「工業技術基礎」で学ぶ目的を理解し、工業の各分野に共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、実験・実習に主体的に取り組む態度を身につけさせる。</p>	<p>・「工業技術基礎」の学習を通して、工業の各分野に共通に必要な基礎的な知識、技術、態度を実験・実習を通して習得する意義を理解させる。</p>	○	○	○	<p>【知】「工業技術基礎」の学ぶ目的をよく理解させ、ものづくりが工業技術の中で果たしている役割についての知識と技能を身につけている。</p> <p>【思】「工業技術基礎」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。</p> <p>【態】「工業技術基礎」で学ぶ目的を理解し、工業の各分野に共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、実験・実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p>	2
	<p>○溶接・ガス切断</p> <p>【知】溶接作業の基本操作についての正しい知識を持ち、溶接作業法を理解できるようにする。</p> <p>【思】溶接作業の基本操作について、適切に思考・判断し、その加工法についての的確に表現できる技量を身につけさせる。</p> <p>【態】溶接作業の基本操作について興味・関心を持ち、溶接作業に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。</p>	<p>・溶接の原理</p> <p>・身近な製品との関連・観察</p> <p>・作品の完成</p> <p>・安全作業、報連相の実践</p>	○	○	○	<p>【知】溶接作業の基本操作についての正しい知識を持ち、溶接作業法をよく理解している。</p> <p>【思】溶接作業の基本操作について、適切に思考・判断し、その加工法についての的確に表現できる技量を身につけている。</p> <p>【態】溶接作業の基本操作について興味・関心を持ち、溶接作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。</p>	20
	<p>○電気計測</p> <p>【知】直流・交流回路の実験を通して、基礎的・基本的な電気に関する知識を習得させ、生産活動における電気回路の社会的意義や役割を理解させる。電気の安全に配慮して電気実験を計画し、適切に実施する技能を身につけさせる。</p> <p>【思】直流・交流回路の実験を通して、部品の正しい接続方法を思考・判断し、効率よい実験工程を創意工夫する能力を身につけさせるとともに、その成果を適切に表現させるよ</p>	<p>・基本的電気回路の知識</p> <p>・結線・配線</p> <p>・計器の取扱い</p> <p>・データの整理</p> <p>・安全作業、報連相の実践</p>	○	○	○	<p>【知】直流・交流回路の実験を通して、基礎的・基本的な電気に関する知識を習得し、生産活動における電気回路の社会的意義や役割を理解している。電気の安全に配慮して電気実験を合理的に計画し、適切に実施する技能を身につけている。</p> <p>【思】直流・交流回路の実験を通して、部品の望ましい接続方法を思考・判断し、効率よい実験工程を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができる。</p> <p>【態】直流・交流回路の実験を通して、電気に関する基礎的・基本的な技術に興味・関心を持ち、意欲的に実験に取り組み、主体的に電気実験を実践する態度を身につけている。</p>	20

	うにする。 【態】直流・交流回路の実験を通して、電気に関する基礎的・基本的な技術に興味・関心を持たせ、意欲的に実験に取り組み、主体的に電気実験を実践する態度を身につけさせる。								
	○電子工作 【知】プリント配線の学習を通して、基礎的・基本的な基板製作の知識を確実に身につけさせ、生産活動におけるプリント配線の重要性和社会的意義や役割を理解している。 安全や環境に与える影響に配慮しつつ、基礎的・基本的なプリント配線を合理的に計画し、適切に処理する技能を身につけさせる。 【思】プリント配線の学習を通して、みずから各部品の望ましい配置や配線方法を思考・判断し、効率的な回路や組立工程を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができるようにする。 【態】プリント配線の学習を通して、電子部品や回路の基礎的・基本的な技術に関心を持ち、安全で合理的なプリント基板の製作を意欲的に実践する態度を身につけさせる。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な基盤作成の知識 ・適切なプリント配線計画 ・作品の完成 ・安全作業、報連相の実践 <ul style="list-style-type: none"> ・組立工程の工夫 ・作品の完成 ・安全作業、報連相の実践 	○	○	○	○	○	<p>【知】プリント配線の学習を通して、基礎的・基本的な基板製作の知識を確実に身につけ、生産活動におけるプリント配線の重要性和社会的意義や役割を理解している。 安全や環境に与える影響に配慮しつつ、基礎的・基本的なプリント配線を合理的に計画し、適切に処理する技能を身につけている。</p> <p>【思】プリント配線の学習を通して、みずから各部品の望ましい配置や配線方法を思考・判断し、効率的な回路や組立工程を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができる。</p> <p>【態】プリント配線の学習を通して、電子部品や回路の基礎的・基本的な技術に関心を持ち、安全で合理的なプリント基板の製作を意欲的に実践する態度を身につけている。</p>	20
2	④旋盤 【知】旋盤作業の基本操作についての正しい知識を持ち、旋削作業法を理解させる。 旋盤作業の基本操作の技能を体得し、安全に配慮した旋削作業法を身につけさせる。 【思】旋盤作業の基本操作について、適切に思考・判断し、旋削作業についての的確に表現できる技量を身につけさせる。 【態】旋盤作業の基本操作について興味・関心を持ち、旋削作業に意欲的に取り組む態度を身につけさせる。	○旋盤の基礎的作業（端面、外径等）操作 <ul style="list-style-type: none"> ・切削の原理 ・身近な製品との関連・観察 ・切削工具の選択 ・作品の完成 ・安全作業、報連相の実践 	○	○	○	○	○	<p>【知】旋盤作業の基本操作についての正しい知識を持ち、旋削作業法をよく理解している。 旋盤作業の基本操作の技能を体得し、安全に配慮した旋削作業法を身につけている。</p> <p>【思】旋盤作業の基本操作について、適切に思考・判断し、旋削作業についての的確に表現できる技量を身につけている。</p> <p>【態】旋盤作業の基本操作について興味・関心を持ち、旋削作業に意欲的に取り組む態度を身につけている。</p>	26

3	<p>○電気製作</p> <p>【知】 テスターの学習を通して、基礎的・基本的な計測の知識を身につけ、生産活動における電気計測機器の重要性と社会的意義や役割を理解させる。テスターの学習を通して、安全に配慮しつつ、基礎的・基本的な回路の電気計測を適切に実施する技能を身につけさせる。</p> <p>【思】 テスターの学習を通して、みずから各部品や回路の測定方法を思考・判断し、効率よい計測を創意工夫し、その成果を適切に表現することができるようにする。</p> <p>【態】 テスターの学習を通して、計測機器のしくみや働きに興味・関心を持ち、安全で正確に電気回路の計測を実践する意欲的な態度を身につけさせる。</p>	<p>○テスターの製作、電子部品の種類の理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスターの役割 ・組立工程の工夫 ・作品の完成 ・安全作業、報連相の実践 <p>○テスターでの基礎的な計測</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テスターの原理 ・計測方法 ・データの整理 ・安全作業、報連相の実践 	○	○	○	○	○	<p>【知】 テスターの学習を通して、基礎的・基本的な計測の知識を身につけ、生産活動における電気計測機器の重要性と社会的意義や役割を理解している。テスターの学習を通して、安全に配慮しつつ、基礎的・基本的な回路の電気計測を適切に実施する技能を身につけている。</p> <p>【思】 テスターの学習を通して、みずから各部品や回路の望ましい測定方法を思考・判断し、効率よい計測を創意工夫し、その成果を適切に表現することができる。</p> <p>【態】 テスターの学習を通して、計測機器のしくみや働きに興味・関心を持ち、安全で正確に電気回路の計測を実践する意欲的な態度を身につけている。</p>	26
	<p>○電子情報</p> <p>【知】 コンピュータ制御回路の製作を通して、基礎的な電子回路に関する知識を身につけさせ、生産活動における制御回路の果たす社会的意義や役割を理解している。</p> <p>安全や環境に配慮し、製作工程を合理的に計画し、的確に実践する技能を身につけさせる。</p> <p>【思】 基礎的・基本的なコンピュータ制御回路の製作を通して、各回路における部品の機能を思考・判断し、効率よい制御回路を創意工夫する能力を身につけさせるとともに、その成果を適切に表現することができるようにする。</p> <p>【態】 コンピュータ制御回路の製作を通して、制御に関する基礎的・基本的な技術に関心を持ち、ものづくりに意欲的に取り組むとともに、安全で合理的な製作を実践する態度を身につけさせる。</p>	<p>○プログラミングの基礎的な操作の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本的なプログラミングの組み方 ・命令の理解 <p>○マイコンを使用した信号制御</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイコン制御の原理 ・制御回路の工夫 ・製作品 	○	○	○	○	○	<p>【知】 コンピュータ制御回路の製作を通して、基礎的な電子回路に関する知識を身につけ、生産活動における制御回路の果たす社会的意義や役割を理解している。</p> <p>安全や環境に配慮し、製作工程を合理的に計画し、的確に実践する技能を身につけている。</p> <p>【思】 基礎的・基本的なコンピュータ制御回路の製作を通して、各回路における部品の機能を思考・判断し、効率よい制御回路を創意工夫する能力を身につけるとともに、その成果を適切に表現することができる。</p> <p>【態】 コンピュータ制御回路の製作を通して、制御に関する基礎的・基本的な技術に関心を持ち、ものづくりに意欲的に取り組むとともに、安全で合理的な製作を実践する態度を身につけている。</p>	26
評価方法	レポート内容、創意工夫、観察力、学習状況観察、製作品					配当時間合計	140		

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

工業情報数理

教科名	工業科	科目名	工業情報数理	単位数	2 単位
学年・類型	1 学年・総合技術科		担当教員		
使用教科書・教材	実教「精選工業情報数理」 プリント				

教科の目標 工業科 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	工業の各分野について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	工業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	よりよい社会の構築を目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。

科目 工業情報数理 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	社会における情報化の進展と情報の意義や役割、情報化社会に生きる技術者としての使命を理解し、情報技術や数値処理に関する基礎的な知識を身につけ、それらの知識を概念的に理解し、調査や観察・演習を通して、それらを実際に活用できる技能を身につけている。	情報化社会における諸問題の解決や情報技術・数値処理について自ら思考を深め、問題解決方法を適切に判断し、情報技術や数値処理を活用して、論述や報告書の作成、グループでの話し合いや発表、作品の制作などの表現の能力を身につけている。	情報技術や数値処理に関する知識と技能を獲得したり、思考・判断・表現の力を身につけたりすることに向けた粘り強い取り組みを通して、他者との協働により自らの考えを相対化し、学びに向かって意欲的に取り組む力や人間性を身につけている。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			知	思	態		
	<p>○工業情報数理を学ぶにあたって</p> <p>【知】「工業情報数理」の学ぶ目的を理解させ、工業技術の中で情報が果たしている役割についての知識と技能を身につけさせる。</p> <p>【思】「工業情報数理」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけさせる。</p> <p>【態】「工業情報数理」で学ぶ目的を理解し、情報分野に共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、座学・実習に主体的に取り組む態度を身につけさせる。</p>	<p>・「工業情報数理」の学習を通して、工業の情報分野に必要である基礎的な知識、技術、態度を座学・実習を通して習得する意義を理解させる。</p>	○	○	○	<p>【知】「工業情報数理」の学ぶ目的をよく理解させ、工業技術の中で情報が果たしている役割についての知識と技能を身につけている。</p> <p>【思】「工業情報数理」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。</p> <p>【態】「工業情報数理」で学ぶ目的を理解し、情報分野に共通する知識や技術に興味・関心を持つとともに、座学・実習に主体的に取り組む態度を身につけている。</p>	1
1	<p>○産業社会と情報技術</p> <p>1 情報と生活</p> <p>【知】・情報・情報処理・データ・ICTなどの用語を理解させる。</p> <p>【態】現代社会では、コンピュータがどのような特徴をもち、どのように利用されているかなどについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p> <p>2 情報化社会の光と影</p> <p>【知】・情報を適切に収集・分析・活用、デザインして表現する知識と技能を身につけさせる。</p> <p>・情報機器やSNSなどの利点や欠点、危険性、正しい取り扱いについて理解し、自分たちがすべきことについてまとめられる。</p> <p>【思】・情報技術の進展にともない産業社会におよぼす影響について、光と影の部分に関して思考・判断でき、自分の考えを表現できるようにする。</p> <p>・情報機器やSNSなどのサービスを取り扱ううえ</p>	<p>・情報やデータの意味、情報化社会の利点や問題点について理解させる。</p> <p>・情報・情報処理・データ・ICTなどの用語の意味を正確に理解させる。</p> <p>・情報化社会の発展が産業社会や個人の生活に及ぼす影響について、その光と影の部分の正しく理解させ、工業技術者として、また社会人として、望ましい情報の活用ができるようにする。</p>	○	○	○	<p>【知】・情報・情報処理・データ・ICTなどの用語を理解している。</p> <p>【態】現代社会では、コンピュータがどのような特徴をもち、どのように利用されているかなどについて関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・情報を適切に収集・分析・活用、デザインして表現する知識と技能を身につけている。</p> <p>・情報機器やSNSなどの利点や欠点、危険性、正しい取り扱いについて理解し、自分たちがすべきことについてまとめることができる。</p> <p>【思】・情報技術の進展にともない産業社会におよぼす影響について、光と影の部分に関して思考・判断でき、自分の考えを表現できる。</p> <p>・情報機器やSNSなどのサービスを取り扱ううえでの社会人としてのルール、モラルやマナーなどについて、具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりできる。</p> <p>【態】・情報化社会について、技術的な側面に加えて、人的な側面にも関心をもち、工業技術者として、また社会人として、望ましい情報の活</p>	8

<p>での社会人としてのルール、モラルやマナーなどについて、具体的に考え、お互いの意見を述べ発表できるようにする。</p> <p>【態】・情報化社会について、技術的な側面に加えて、人的な側面にも関心をもち、工業技術者として、また社会人として、望ましい情報の活用ができ意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータの特徴を人間と比べて理解させる。 ・ハードウェアとソフトウェアの関係について理解させる。 	○	○	○	<p>用をしようと意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・FA・OAなどの用語について理解している。</p> <p>【思】・実際に簡単な計算処理をして、コンピュータと人間の処理を比較して思考・判断でき、意見を述べたり発表したりできる。</p> <p>【態】・コンピュータの特徴とコンピュータを用いることの意味に関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>
<p>3 コンピュータの特徴</p> <p>【知】・FA・OAなどの用語について理解させる。</p> <p>【思】・実際に簡単な計算処理をして、コンピュータと人間の処理を比較して思考・判断でき、意見を述べさせ発表できるようにする。</p> <p>【態】・コンピュータの特徴とコンピュータを用いることの意味に関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータが身のまわりのさまざまなものに組み込まれ、さらにインターネットなどに接続され利用されていることについて理解させる。 ・工場や販売流通、オフィスなどにおいて、コンピュータによる自動化が作業を効率的に進めていることについて理解させる。 ・情報化の進展により、エネルギー、情報などさまざまな資源を効率的に活用でき 	○	○	○	<p>【知】・身のまわりのどの機器にコンピュータが組み込まれ利用されているか、産業界、のどの分野でコンピュータがどのように利用されているか調査し、まとめることができる。</p> <p>・情報技術を利用して、エネルギーを有効活用する方法を理解している。</p> <p>・クラウドコンピューティング、エッジコンピューティングなどインターネットを利用したシステムについて理解している。</p> <p>・タブレット型コンピュータを有効活用する方法を理解し、タブレット型コンピュータの普及がおよぼす影響について調査し、まとめることができる。</p> <p>【思】・コンピュータがパソコンだけでなく、制御や通信など多くの機器に組み込まれ活用されていることが考察し、発表できる。</p> <p>・タブレット型コンピュータの普及が、私たちの生活や産業社会での情報技術の活用方法にどのように影響を与えているか、具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりできる。</p> <p>【態】・コンピュータが、タブレット型コンピュータや家電製品など身</p>
<p>4 情報化の進展と産業社会</p> <p>【知】・身のまわりのどの機器にコンピュータが組み込まれ利用されているか、産業界、のどの分野でコンピュータがどのように利用されているか調査し、まとめることができる。</p> <p>・情報技術を利用して、エネルギーを有効活用する方法を理解させる。</p> <p>・クラウドコンピューティング、エッジコンピューティングなどインターネットを利用したシステムについて理解させる。</p> <p>・タブレット型コンピュータを有効活用する方法を理解させ、タブレット型コンピュータの普及がおよぼす影響について調査させ、まとめることができるようにする。</p> <p>【思】・コンピュータがパソコンだけでなく、制御や通信など多くの機器に組み込まれ活用されていることが考察し、発表</p>	○	○	○	<p>・情報技術を利用して、エネルギーを有効活用する方法を理解している。</p>	

<p>できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット型コンピュータの普及が、私たちの生活や産業社会での情報技術の活用方法にどのように影響を与えているか、具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりできるようにする。 <p>【態】・コンピュータが、タブレット型コンピュータや家電製品など身のまわりのさまざまな機器やFA・OA、エネルギーの有効利用などに活用されていることに興味をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータが身のまわりのさまざまなものに組み込まれ、さらにインターネットなどに接続され利用されていることに興味をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。 <p>5 情報化社会のモラルと管理</p> <p>【知】・知的財産権について理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会が進展するにつれ、守らなければならないマナーやモラルが重要であることを理解させる。 <p>【態】・知的財産権・プライバシーの保護・コンピュータの不正利用対策・コンピュータウイルス、および、それらの対策などに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p> <p>6 情報セキュリティの管理</p> <p>【知】・情報の不正利用防止やセキュリティ対策について理解している。</p> <p>【思】・コンピュータの不正利用防止のために、それらの実態を知り技術的な対処方法が必要であることが考察し発表できる。</p> <p>【態】・コンピュータウイルス対策や情報の不正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権、プライバシーの保護など法的・技術的・文化的な観点で、自分と他人の権利を守ることやモラルの重要性を理解させる。 ・コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術を理解させる。 ・VDT作業における注意点やテクノストレス防止など、コンピュータ利用時の健康管理について理解させる。 	<p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p>	<p>のまわりのさまざまな機器やFA・OA、エネルギーの有効利用などに活用されていることに興味をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータが身のまわりのさまざまなものに組み込まれ、さらにインターネットなどに接続され利用されていることに興味をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。 <p>【知】・知的財産権について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報化社会が進展するにつれ、守らなければならないマナーやモラルが重要であることを理解している。 <p>【態】・知的財産権・プライバシーの保護・コンピュータの不正利用対策・コンピュータウイルス、および、それらの対策などに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・情報の不正利用防止やセキュリティ対策について理解している。</p> <p>【思】・コンピュータの不正利用防止のために、それらの実態を知り技術的な対処方法が必要であることが考察し発表できる。</p> <p>【態】・コンピュータウイルス対策や情報の不正利用防止のための基本的な技術に関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>
---	---	---------------------------	---

<p>利用防止のための基本的な技術に関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p> <p>7 問題の発見・解決と情報技術の活用 【知】・データの暗号化技術および認証システムなどについて理解させる。 ・コンピュータ利用の際の健康面での注意事項について考察し発表できるようにする。 【思】・問題の発見・解決に向けて具体的に考えさせ、お互いの意見を述べたり発表したりできるようにする。 ・情報の適切な収集・分析・整理に関して思考・判断でき、自分の考えを表現できるようにする。</p>	<p>・問題を見いだし、それを解決していく手順と方法を理解させる。</p>	○	○	<p>【知】・データの暗号化技術および認証システムなどについて理解している。 ・コンピュータ利用の際の健康面での注意事項について考察し発表できる。 【思】・問題の発見・解決に向けて具体的に考え、お互いの意見を述べたり発表したりできる。 ・情報の適切な収集・分析・整理に関して思考・判断でき、自分の考えを表現できる。</p>	
<p>○コンピュータの基本操作とソフトウェア</p> <p>1 コンピュータの基本操作 【知】・利用者認証の意味について理解させる。 ・マウス・タッチスクリーン・キーボードを扱う技能を習得させる。 ・ハードディスク、ソリッドステートドライブ、光ディスク、フラッシュメモリの特徴などについての知識を身につけさせる。 【思】・利用者認証の目的や管理者の役割について考察し発表できるようにする。 ・各種記憶装置の取り扱い方の必要性について思考・判断させ、自分の考えを表現させる。 【態】・コンピュータの起動・終了、マウス・タッチスクリーン・キーボードの基本操作、記憶装置の取り扱いなどに関心を持たせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p> <p>2 ソフトウェアの基礎 【知】・アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能について理解</p>	<p>・コンピュータの正しい利用手続き、マウス・タッチスクリーン・キーボードなどの基本的な操作について理解させる。 ・作成したデータ保存やデータ利用に必要な補助記憶装置と取扱いについて理解させる</p> <p>・ソフトウェアの分類とオペレーティングシステムの目的および基本操作について理解させる。</p>	○	○	<p>【知】・利用者認証の意味について理解している。 ・マウス・タッチスクリーン・キーボードを扱う技能を習得している。 ・ハードディスク、ソリッドステートドライブ、光ディスク、フラッシュメモリの特徴などについての知識を身につけている。 ・記憶装置を扱う技能を習得している。 【思】・利用者認証の目的や管理者の役割について考察し発表できる。 ・各種記憶装置の取り扱い方の必要性について思考・判断でき、自分の考えを表現できる。 【態】・コンピュータの起動・終了、マウス・タッチスクリーン・キーボードの基本操作、記憶装置の取り扱いなどに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・アプリケーションソフトウェアの特徴の違いや機能について理解している。 ・アプリケーションソフトウェアに</p>	8

<p>させる。 ・アプリケーションソフトウェアに共通する基本的な操作などの技能を習得させる。 【思】・OSとハードウェア、応用ソフトウェアの関係を考察し発表できるようにする。 【態】・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの違い、OSの目的と種類などに関心を持たせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるようにする。</p>			<p>共通する基本的な操作などの技能を習得している。 【思】・OSとハードウェア、応用ソフトウェアの関係を考察し発表できる。 【態】・基本ソフトウェアと応用ソフトウェアの違い、OSの目的と種類などに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	
<p>○数理処理 1 単位と数理処理 【知】・組立単位が固有の記号の組合せで構成されていることを理解させる。 【思】・量の名称・量記号・単位(SI)について説明できるようにする。 【態】・量の名称・量記号・単位(SI)について関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p> <p>2 実験と数理処理 【知】・実際の実験データを用意し、グラフ化する方法を理解させグラフを作成する技能を習得させる。 ・実際にあるデータから特徴を読み取る技能を習得させる。 【思】・実験データをグラフによって可視化させ、データの特徴を見いだす方法を提案できるようにする。 【態】・実験データをグラフによって可視化し、データの特徴を見いだす方法について関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p> <p>3 モデル化とシミュレーション 【知】・表計算ソフトウェアを用いた解析手順を行う技能を習得させる。 【思】・いろいろな事象をモデル化によって数式として扱う方法を理解さ</p>	<p>・量の名称・量記号・単位(SI)について、理解させる。</p> <p>・実験データをグラフによって可視化し、データの特徴を見いだす方法を身につけさせる。</p> <p>・いろいろな事象が、モデル化によって数式として扱えることを理解させる。</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p>	<p>【知】・組立単位が固有の記号の組合せで構成されていることを理解している。 【思】・量の名称・量記号・単位(SI)について説明できる。 【態】・量の名称・量記号・単位(SI)について関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・実際の実験データを用意し、グラフ化する方法を理解しグラフを作成する技能を習得している。 ・実際にあるデータから特徴を読み取る技能を習得している。 【思】・実験データをグラフによって可視化し、データの特徴を見いだす方法を提案できる。 【態】・実験データをグラフによって可視化し、データの特徴を見いだす方法について関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・表計算ソフトウェアを用いた解析手順を行う技能を習得している。 【思】・いろいろな事象をモデル化によって数式として扱う方法を理解し、適切な方法を選択して説明できる。 【態】・いろいろな事象をモデル化</p>	<p>8</p>

	<p>せ、適切な方法を選択して説明できるようにする。</p> <p>【態】・いろいろな事象をモデル化によって数式として扱う方法に関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p>			<p>によって数式として扱う方法に関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	
2	<p>○プログラミングの基礎</p> <p>1 プログラム言語 【知】・機械語、アセンブラ言語、高水準言語について理解をさせる。 【思】・インタプリタとコンパイラの違いを考察し発表できる。 【態】・人の会話に言語が必要であるように、コンピュータへの命令に言語が必要であることに興味をもたせ、意欲的に学習できるようにさせる。</p> <p>2 プログラムのつくり方 【知】・プログラムの作成手順を理解させ、流れ図を書き、簡単なプログラム作成のための知識と技能を身につけさせる。 【思】・流れ図を見て、処理の流れなどの内容を考察し発表できるようにする。 【態】・プログラムの作成手順、流れ図などに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p> <p>3 アルゴリズムと流れ図 【知】・基本的な流れ図について理解している。 【思】・流れ図を見て、</p>	<p>・プログラム言語の種類について理解させる。</p> <p>○ ○ ○</p> <p>・問題解決の手段としてのアルゴリズムやプログラムの作成の意味を理解させる。</p> <p>○ ○ ○</p> <p>・順次・選択・繰返しの三つの基本的な流れ図と構造化プログラミングの意義について理解させる。</p> <p>○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p>	<p>【知】・機械語、アセンブラ言語、高水準言語について理解している。 【思】・インタプリタとコンパイラの違いを考察し発表できる。 【態】・人の会話に言語が必要であるように、コンピュータへの命令に言語が必要であることに興味を持ち、意欲的に学習できる。</p> <p>【知】・プログラムの作成手順を理解し、流れ図を書き、簡単なプログラム作成のための知識と技能を身につけている。 【思】・流れ図を見て、処理の流れなどの内容を考察し発表できる。 【態】・プログラムの作成手順、流れ図などに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・基本的な流れ図について理解している。 【思】・流れ図を見て、処理の流れなどの内容を考察し発表できるようにする。【態】・プログラムの作成</p>	8

<p>処理の流れなどの内容を考察し発表できるようにする。</p> <p>【態】・プログラムの作成手順、流れ図などに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p> <p>4 プログラミングの基礎</p> <p>【知】・BASICの簡単なプログラムを作成し、コンピュータに入力して、その結果を出力する知識と技能を習得させる。</p> <p>【思】・簡単なプログラムを読んで、どのような結果が出力されるか考察し発表できるようにする。</p> <p>【態】・基本的な命令を理解させ、四則計算プログラム・文字データを出力するプログラム・数値データや文字列データを扱うプログラムなどのプログラムに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるようにする。</p>	<p>・BASICの特徴、簡単なプログラム作成について理解させる。</p>	○	○	○	<p>手順、流れ図などに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・BASICの簡単なプログラムを作成し、コンピュータに入力して、その結果を出力する知識と技能を習得している。</p> <p>【思】・簡単なプログラムを読んで、どのような結果が出力されるか考察し発表できる。</p> <p>【態】・基本的な命令を理解し、四則計算プログラム・文字データを出力するプログラム・数値データや文字列データを扱うプログラムなどのプログラムに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	
<p>○コンピュータの基本操作とソフト</p> <p>3 アプリケーションソフトウェア</p> <p>【知】・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技能を習得させる。</p> <p>【思】・アプリケーションソフトウェアの中から必要なソフトウェアを選択することについて思考・判断でき、自分の考えを表現できるようにする。</p> <p>・アプリケーションソフトウェアを活用して情報をデザインし表現できるようにする。</p> <p>【態】・Webブラウザ、電子メールソフトウェア、日本語ワードプロセッサソフトウェア、表計算ソフトウェア、PDFファイル作成ソフトウェア、プレゼンテーション支援ソフトウェア、図形処理ソフトウェア、CADソフトウェア、音声編集ソフトウェア、動画編集ソフトウェア</p>	<p>・どのようなアプリケーションソフトウェアがあるか理解させ、実際に使えるようにする。</p>	○	○	○	<p>【知】・情報の種類によって適切なアプリケーションソフトウェアを選択して使いこなす技能を習得している。</p> <p>【思】・アプリケーションソフトウェアの中から必要なソフトウェアを選択することについて思考・判断でき、自分の考えを表現できる。</p> <p>・アプリケーションソフトウェアを活用して情報をデザインし表現できる。</p> <p>【態】・Webブラウザ、電子メールソフトウェア、日本語ワードプロセッサソフトウェア、表計算ソフトウェア、PDFファイル作成ソフトウェア、プレゼンテーション支援ソフトウェア、図形処理ソフトウェア、CADソフトウェア、音声編集ソフトウェア、動画編集ソフトウェアなどに興味を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	8

<p>集ソフトウェア、データベースソフトウェアなどに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができる。</p>						
<p>○コンピュータネットワーク</p> <p>1 コンピュータネットワーク</p> <p>【知】・データ通信システムと情報通信ネットワークの概要について理解させる。</p> <p>・LANの基本構成について理解させ、簡単な接続ができるようにする。</p> <p>・FTTH、ADSL、CATV、モバイルブロードバンド、公衆無線LANなどのインターネット接続の概要について理解させる。</p> <p>・無線を利用した機器について理解させる。</p> <p>【思】・コンピュータ室のネットワークについて、使用されている機器を判断させ、構成を説明できるようにする。</p> <p>・家庭のインターネット接続について適切な方式を選択し提案できるようにする。</p> <p>【態】・データ通信の概要とネットワークの概要について関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるようにする。</p> <p>・家庭のインターネット接続やコンピュータ室のネットワークに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるようにする。</p> <p>2 ネットワークの通信技術</p> <p>【知】・伝送制御方式や、HTTP、SMTP、POP、FTPなどについて理解させる。</p> <p>・停電対策や雷対策について理解させる。</p> <p>【態】・コンピュータネットワークに使用する機器やプロトコルに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるようにする。</p>	<p>・コンピュータネットワークを利用した情報交換の利点について理解させる。</p> <p>・身近なコンピュータネットワークについて理解させる。</p> <p>・ネットワーク機器とネットワークの形態について理解させる。</p> <p>・家庭のコンピュータのインターネットへの接続方法について理解させる。</p> <p>・コンピュータネットワークに必要な通信技術や技術的な約束事について理解させる。</p> <p>・コンピュータネットワークを停止させずに安全に利用する方法について理解させる。</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>	<p>【知】・データ通信システムと情報通信ネットワークの概要について理解している。</p> <p>・LANの基本構成について理解し、簡単な接続ができる。</p> <p>・FTTH、ADSL、CATV、モバイルブロードバンド、公衆無線LANなどのインターネット接続の概要について理解している。</p> <p>・無線を利用した機器について理解している。</p> <p>【思】・コンピュータ室のネットワークについて、使用されている機器を判断して、構成を説明できる。</p> <p>・家庭のインターネット接続について適切な方式を選択し提案できる。</p> <p>【態】・データ通信の概要とネットワークの概要について関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>・家庭のインターネット接続やコンピュータ室のネットワークに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・伝送制御方式や、HTTP、SMTP、POP、FTPなどについて理解している。</p> <p>・停電対策や雷対策について理解している。</p> <p>【態】・コンピュータネットワークに使用する機器やプロトコルに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	<p>8</p>

3	<p>○プログラミングの基礎 5 順次処理</p> <p>【知】・順次処理のアルゴリズムと使用する命令について理解させプログラムすることができるようにする。</p> <p>・おもな組込み関数について理解させプログラムすることができるようにする。</p> <p>【思】・分岐処理プログラム、繰返し処理プログラムを読んで、処理手順をトレースし説明できるようにする。</p> <p>【態】・分岐処理・繰返し処理などのプログラムに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるようにする。</p> <p>6 選択処理</p> <p>【知】・選択処理のアルゴリズムと使用する命令について理解させてプログラムすることができるようにする。</p> <p>【思】・分岐処理プログラム、繰返し処理プログラムを読んで、処理手順をトレースし説明できるようにする。</p> <p>・問題を解決するためのアルゴリズムを理解させ、自らプログラムを作成させ、他人が利用できるソフトウェアのプログラムを記述し、説明できるようにする。</p> <p>【態】・分岐処理・繰返し処理などのプログラムに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるよ</p>	<p>・データの出力，データの 入力，関数の計算について理解させる。</p> <p>・選択処理について理解させる。</p>	○	○	○	<p>【知】・順次処理のアルゴリズムと使用する命令について理解してプログラムすることができる。</p> <p>・おもな組込み関数について理解してプログラムすることができる。</p> <p>【思】・分岐処理プログラム、繰返し処理プログラムを読んで、処理手順をトレースし説明できる。</p> <p>【態】・分岐処理・繰返し処理などのプログラムに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	7

<p>うにする。</p> <p>7 繰返し処理 【知】・繰返し処理のアルゴリズムと使用する命令について理解させてプログラムすることができるようにする。 【思】・分岐処理プログラム、繰返し処理プログラムを読んで、処理手順をトレースし説明できるようにする。 ・問題を解決するためのアルゴリズムを理解させ、自らプログラムを作成させ、他人が利用できるソフトウェアのプログラムを記述し、説明できるようにする。 【態】・分岐処理・繰返し処理などのプログラムに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるようにする。</p>	<p>・繰返し処理とその書式について理解させる。</p>	○	○	○	<p>【知】・繰返し処理のアルゴリズムと使用する命令について理解してプログラムすることができる。 【思】・分岐処理プログラム、繰返し処理プログラムを読んで、処理手順をトレースし説明できる。 ・問題を解決するためのアルゴリズムを理解し、自らプログラムを作成し、他人が利用できるソフトウェアのプログラムを記述し、説明できる。 【態】・分岐処理・繰返し処理などのプログラムに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>
<p>8 プログラムの応用 【知】・1次元配列、2次元配列の概念を理解し、配列を用いたデータの並べ替えなどを理解させてプログラムすることができるようにする。 ・ルーチン、メインルーチン、サブルーチンなどの用語を理解させてプログラムすることができるようにする。 ・ファイルの種類と特徴について理解させてプログラムすることができるようにする。 ・グラフィックスに用いられる命令を理解させてプログラムすることができるようにする。 【思】・協働でプログラミングするために、他人が理解できるわかりやすく最適化されたプログラムの記述や文書作成ができるようにする。 【態】・配列処理によるデータの並べ替え、関数定義、外部定義関数、メインルーチン、サブルーチン、ファイル処理による住所録の作成、グラフィックスなどに関心をも</p>	<p>・プログラム中にデータを設定する方法を理解させる。 ・配列の利用と書式について理解させる。 ・関数定義、外部定義関数、サブルーチン、ファイル、グラフィックスの考え方について理解させる。</p>	○	○	○	<p>【知】・1次元配列、2次元配列の概念を理解し、配列を用いたデータの並べ替えなどを理解してプログラムすることができる。 ・ルーチン、メインルーチン、サブルーチンなどの用語を理解してプログラムすることができる。 ・ファイルの種類と特徴について理解してプログラムすることができる。 ・グラフィックスに用いられる命令を理解してプログラムすることができる。 【思】・協働でプログラミングするために、他人が理解できるわかりやすく最適化されたプログラムの記述や文書作成ができる。 【態】・配列処理によるデータの並べ替え、関数定義、外部定義関数、メインルーチン、サブルーチン、ファイル処理による住所録の作成、グラフィックスなどに関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>

<p>たせ、意欲的に学習に取り組む、協働して学ぶことができるようにする。</p>				
<p>○ハードウェア</p> <p>1 処理装置と周辺装置 【知】・処理装置や周辺装置の基本的な知識を身につけさせる。 ・コンピュータに周辺装置を適切に接続する技能を習得させる。 【思】・コンピュータにおけるハードウェアの役割としくみを理解し、説明できるようにする。 ・利用目的に応じた適切な周辺装置を選択させ、提案できるようにする。 【態】・処理装置と周辺装置に関心をもたせ、上記の事項について意欲的に学習に取り組ませ、協働して学ぼうことができる。</p> <p>2 データの表し方 【知】・2進数と16進数について理解させ、四則計算や変換計算ができるようにする。 ・文字・音・静止画像・動画の画像の情報、データ圧縮・伸長の基本的な知識を身につけさせる。 【思】・10進数の構成から、2進数と16進数の構成が類推し発表できるようにする。 ・文字・音・静止画像・動画の画像の情報と人の感覚の関係について考察し発表できるようにする。 【態】・2進数、10進数、16進数などに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組む、協働して学ぶことができるようにする。 ・コンピュータ内部で文字・音・静止画像・動画の画像の情報とどのように取り扱われているか関心をもたせ、意欲的に学習に取り組む、協働して学ぶことができるようにする。</p> <p>3 論理回路の基礎 【知】・AND・OR・NOT・NAND・NOR・EX-OR回路の</p>	<p>・コンピュータの構成、処理装置の動作について理解させる。 ・入出力装置と補助記憶装置について理解させる。</p> <p>・コンピュータで用いるデータの表し方について理解させる。 ・文字・音・静止画像・動画の画像のデジタル化を理解させる。</p> <p>・2値で演算や制御を行う論理回路の基本について理解させる。</p>	<p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p>	<p>【知】・処理装置や周辺装置の基本的な知識を身につけている。 ・コンピュータに周辺装置を適切に接続する技能を習得している。 【思】・コンピュータにおけるハードウェアの役割としくみを理解し、説明できる。 ・利用目的に応じた適切な周辺装置を選択し、提案できる。 【態】・処理装置と周辺装置に関心がある。そして、上記の事項について意欲的に学習に取り組む、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・2進数と16進数について理解し、四則計算や変換計算ができる。 ・文字・音・静止画像・動画の画像の情報、データ圧縮・伸長の基本的な知識を身につけている。 【思】・10進数の構成から、2進数と16進数の構成が類推し発表できる。 ・文字・音・静止画像・動画の画像の情報と人の感覚の関係について考察し発表できる。 【態】・2進数、10進数、16進数などに関心をもち、意欲的に学習に取り組む、協働して学ぼうとしている。 ・コンピュータ内部で文字・音・静止画像・動画の画像の情報がどのように取り扱われているか関心をもち、意欲的に学習に取り組む、協働して学ぼうとしている。</p> <p>【知】・AND・OR・NOT・NAND・NOR・EX-OR回路の機能を理解し、それらを応用回路に利用する知識と</p>	<p>7</p>

<p>機能を理解させ、それら を応用回路に利用する知 識と技能を身につけさせ る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本論理回路やフリップフロップを用いて、半加算回路や全加算回路、シフトレジスタなどを構成する技能を習得させる。 <p>【思】・基本論理回路を用いた応用回路について、論理的に考察し発表できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RS-FF、JK-FF、T-FF、D-FFの違いを考察し発表できるようにする。 <p>【態】・基本論理回路とその応用回路、フリップフロップ、カウンタ、シフトレジスタなどに関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるようにする。</p>			<p>技能を身につけている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基本論理回路やフリップフロップを用いて、半加算回路や全加算回路、シフトレジスタなどを構成する技能を習得している。 <p>【思】・基本論理回路を用いた応用回路について、論理的に考察し発表できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・RS-FF、JK-FF、T-FF、D-FFの違いを考察し発表できる。 <p>【態】・基本論理回路とその応用回路、フリップフロップ、カウンタ、シフトレジスタなどに関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	
<p>○コンピュータによる制御</p> <p>1 いろいろな制御</p> <p>【知】・コンピュータ制御の概要について理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ制御に必要な要素について理解させる。 ・コンピュータ制御に必要な電子回路について理解させる。 ・コンピュータ制御に必要なプログラムについて理解させる。 ・ライントレーサなどに利用されているコンピュータ制御の特徴を理解させ、機器を操作する技能を習得させる。 <p>【思】・身のまわりの機器がコンピュータ制御されていることを知り、どのような制御を行っているか考察し発表できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機器に適したコンピュータ制御の方法を判断させ説明できるようにする。 ・身のまわりの機器に組み込まれているコンピュータを指摘し特徴を考察し発表できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制御の概要を踏まえたうえで、コンピュータ制御の考え方について理解させる。 ・コンピュータ制御の具体的な方法について理解させる。 	<p>○ ○ ○</p> <p>○ ○ ○</p>	<p>【知】・コンピュータ制御の概要について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータ制御に必要な要素について理解している。 ・コンピュータ制御に必要な電子回路について理解している。 ・コンピュータ制御に必要なプログラムについて理解している。 ・ライントレーサなどに利用されているコンピュータ制御の特徴を理解して、機器を操作する技能を習得している。 <p>【思】・身のまわりの機器がコンピュータ制御されていることを知り、どのような制御を行っているか考察し発表できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりの機器に組み込まれているコンピュータを指摘し特徴を考察し発表できる。 ・機器に適したコンピュータ制御の方法を判断し説明できる。 <p>【態】・身のまわりのコンピュータ制御や、コンピュータ制御の具体的な方法に関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	7

<p>る。</p> <p>【態】・身のまわりのコンピュータ制御や、コンピュータ制御の具体的な方法に関心をもたせ、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぶことができるようにする。</p> <p>2 組込み技術</p> <p>【知】・組込み技術の概要と組込みシステムの特徴について理解している。</p> <p>【態】・身のまわりの組込み技術とその特徴に関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	<p>・身のまわりの組込み技術と、その概要を知り、特徴を理解させる。</p>	○	○	<p>【知】・組込み技術の概要と組込みシステムの特徴について理解している。</p> <p>【態】・身のまわりの組込み技術とその特徴に関心をもち、意欲的に学習に取り組み、協働して学ぼうとしている。</p>	
評価方法	小テスト、創意工夫、観察力、学習状況観察、製作品			配当時間合計	70

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。

人間と社会

教科名	人間と社会	科目名	人間と社会	単位数	ポイントリザーブ
学年・類型	1 学年		担当教員		
使用教科書・教材	東京都教育委員会著作準教科書「人間と社会」 担当教員作成のプリント、ワークシート				

教科の目標 人間と社会 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	予測できない社会の変化や新しい課題に対応するため、主体的に自己や社会の課題を発見し、課題に向けて実用な知識及び技能を身に付ける。	社会的現実を照らし、よりよい生き方を選択することができるよう、自己と社会とのか関わりから課題を見出し、情報を集め、整理・分析して、多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	演習や体験活動に主体的・協働的に取り組むことによって、人間としての在り方生き方に対する自覚を深め、自己の生き方を充実させようとする態度と、お互いの良さを生かしながら、社会の一員であることを自覚し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

科目 人間と社会 の目標

観点	a : 知識・技能	b : 思考・判断・表現	c : 主体的に学習に取り組む態度
趣旨	自己と実生活や実社会との関わりから新しい課題を自ら見いだしたり、考察に必要な知識を身に付けたり、情報を整理・分析したりすることや、解決のための話し合いを進めたり、自分の考えを効果的に説明したりするなどの技能を身に付ける。	他者との交流や討論の振り返りを通して、これまでもっていた課題を深めたり、新たに情報を集め整理・分析したり、新しい知識を得たりすることによって、意見や考えが深まる。このことによって課題発見、課題解決の力を身に付けさせる。	集団活動の中で、人間としての在り方生き方に対する自覚を深めるとともに、社会の中で自己のよさや可能性を生かす力、前向きに自己の将来を設計する態度を育む。

学習内容と評価の観点

学期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価の観点			単元の（題材）の評価規準	配当時間
			知	思	態		
1	<p>○「人間と社会」を考える。 【知】「人間と社会」の学ぶ目的を理解させる。 【思】「人間と社会」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身に付けさせる。 【態】「人間と社会」で学ぶ目的を理解し、主体的に行動する態度を育成する。</p>	<p>・「人間と社会」の学習を通して、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	<p>【知】「人間と社会」の学ぶ目的をよく理解している。 【思】「人間と社会」では、何をどのように学ぶのかを適切に思考・判断し、その結果を適切に相手に伝える表現力を身につけている。 【態】「人間と社会」で学ぶ目的を理解し、主体的に行動する態度を身につけている。</p>	1
	<p>○学習の視点を考える。 【知】「何を大切にして、どのように生きるか」について、自分自身の判断基準を見直すことができる。 【思】他者との関わりを通して自己の判断基準を高めることができる。 【態】判断基準に従って行動ができる。</p>	<p>・「大切にしたいこと」について考える活動を通して、自分自身や他者を理解しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	<p>【知】「何を大切にして、どのように生きるか」について、自分自身の判断基準を見直すことができる。 【思】他者との関わりを通して自己の判断基準を高めることができる。 【態】判断基準に従って行動ができる。</p>	1
	<p>○地域社会を築く① 【知】地域で活動する人々の活動内容について理解している。 【思】地域社会とのかかわりについて考察できる。 【態】主体的に地域社会に参画する能力を育成する。</p>	<p>・地域社会の一員であることを自覚し、社会連帯、公正に対する自己の考えを深め、主体的に地域社会に参画する能力を育成する。</p>	○	○	○	<p>【知】地域で活動する人々の活動内容について理解している。 【思】地域社会とのかかわりについて考察できている。 【態】主体的に地域社会に参画する能力が育成できている。</p>	1
2	<p>○「葛飾区産業フェア」への準備 【知】参加に必要なものがなんであるかを理解している。来場者への指導内容を理解している。 【思】効果的に来場者に対し製作手順を説明できる。 【態】参加に必要なものを他者と協力してそろえることができる。</p>	<p>・「葛飾区産業フェア」へ参加するのに必要な準備を行う。</p>	○	○	○	<p>【知】参加に必要なものがなんであるかを理解していた。来場者への指導内容を理解していた。 【思】効果的に来場者に対し製作手順を説明できている。 【態】参加に必要なものを他者と協力してそろえることができる。</p>	1
	<p>○「葛飾区産業フェア」参観 【知】来場者への指導内容を理解している。 【思】来場者が理解し、手際よく製作ができるよう説明ができる。 【態】来場者に対し、率先して対応する態度を養う。</p>	<p>・葛飾区産業フェアに参加し、自校の展示ブースの案内、製作体験指導や会場整理等を行う。</p>	○	○	○	<p>【知】来場者への指導内容を理解していた。 【思】来場者が理解し、手際よく製作ができるよう説明ができている。 【態】来場者に対し、率先して対応している。</p>	6

	<p>○「葛飾区産業フェア」参加後の指導</p> <p>【知】参加して課題が何かを理解している。</p> <p>【思】他者と協力して課題解決のための提案ができる。</p> <p>【態】課題解決のための工夫ができる。</p>	<p>・地域社会を知り、課題対応力を育成する。</p>	○	○	○	<p>【知】参加して課題が何かを理解していた。</p> <p>【思】他者と協力して課題解決のための提案ができています。</p> <p>【態】課題解決のための工夫ができています。</p>	1
	<p>○救急救命活動の基礎を学ぶ</p> <p>【知】救命救急の基本について理解している。</p> <p>【思】効率よく救命救急ができるか考えることができる。</p> <p>【態】救命救急を率先して行える態度を養う。</p>	<p>・救急救命活動の基本を学ぶ</p>	○	○	○	<p>【知】救命救急の基本について理解していた。</p> <p>【思】効率よく救命救急ができるか考えることができています。</p> <p>【態】救命救急を率先して行える。</p>	2
	<p>○地域社会を築く②</p> <p>【知】地域で活動する人々の活動内容について理解している。</p> <p>【思】地域社会とのかかわりについて考察できる。</p> <p>【態】主体的に地域社会に参画する能力を育成する。</p>	<p>・地域社会の一員であることを自覚し、社会連帯、公正に対する自己の考えを深め、主体的に地域社会に参画する能力を育成する。</p>	○	○	○	<p>【知】地域で活動する人々の活動内容について理解している。</p> <p>【思】地域社会とのかかわりについて考察できている。</p> <p>【態】主体的に地域社会に参画する能力が育成できている。</p>	1
	<p>○地域清掃</p> <p>【知】ごみの分別について理解をしている。</p> <p>【思】どのように清掃活動を行えば効率よく行えるかを考えることができる。</p> <p>【態】率先して清掃活動を行う態度を育成する。</p>	<p>・地域の清掃活動を行う活動を通して公共の精神の自己の考えを深める。</p>	○	○	○	<p>【知】ごみの分別について理解をしていた。</p> <p>【思】どのように清掃活動を行えば効率よく行えるかを考えることができています。</p> <p>【態】率先して清掃活動を行う態度を育成できている。</p>	
3	<p>○学ぶことの意義</p> <p>【知】学びについて身近な視点から考えることができる。</p> <p>【思】話合いを通して、「自律、忍耐」に対する自己の考えを深めることができる。</p> <p>【態】主体的に学び続けようとする態度を育成する。</p>	<p>・学ぶことの意義を考え、自覚し、自律、忍耐に対する自己の考えを深め、人生を通じて主体的に学び続けようとする能力を育成する。</p>	○	○	○	<p>【知】学びについて身近な視点から考えることができています。</p> <p>【思】話合いを通して、「自律、忍耐」に対する自己の考えを深めることができています。</p> <p>【態】主体的に学び続けようとする態度を育成できている。</p>	2
評価方法	観察、提出物					配当時間合計	17

※なお、配当時間は生徒の状況により、必ずしも上記の通りに展開するものではない。